

別府 大分先端画像診断センター

別府市の医療法人社団上人会が運営するメディカル・イメージング・センターは新しく3テスラMRIを導入、名称を「大分先端画像診断センター」とあらためて2日、リニューアルオープンした。

県内初 3テスラMRI

科学



大分県で初めて導入した3テスラMRIについて説明する友成健一朗センター長(大分先端画像診断センター)

より高精度、大分大と連携

各種人間ドックもスタート

かがく

三テスラMRI設置は県内 健診コースなど、各種人間ドックを普及している。一・五テスラMRIに比べ、より高精度な画像診断が可能になる。これと従来のPET・CTを併用することによって、友成健一朗センター長(放射線科専門医)は「大学の画像診断ネットワークを使いながら、高度先端医療機器で検査を受けたという患者さん

の特殊な形かを鑑別するためMRI検査とPET検査を併用して、総合画像診断で肺炎の特殊な形と分かり、手術はせず、内科的治療で経過をみるようになった。大分大と連携して、画像診断に放射線科専門医の協力が得られていることも大きな特徴。大学の遠隔画像診断ネットワークに加入、大病院での治療に直結するシステムを構築している。

センターはMRIによる脳ドックを開設したほか、四月からは新しく導入したマンモグラフィによる女性専用のPET・CTとPETとCT(コンピュータ断層撮影装置)の機能を併せ持つ装置。県内は唯一センターが設置している。

PETドック、人間ドックの予約、問い合わせは大分先端画像診断センター(☎0977・66・4116)。

*三テスラMRI:磁気共鳴画像診断装置。テスラは磁場の高さを表す単位。

*PET・CT:PET(陽電子放射断層撮影装置)とCT(コンピュータ断層撮影装置)の機能を併せ持つ装置。県内は唯一センターが設置している。

*マンモグラフィ:乳房エックス線検査。初期の小さな乳がんを発見できる。

検査を受けたという患者さんの要望にも応えられるよう、しっかり運営することで地域医療に貢献できればと思う」と語っている。